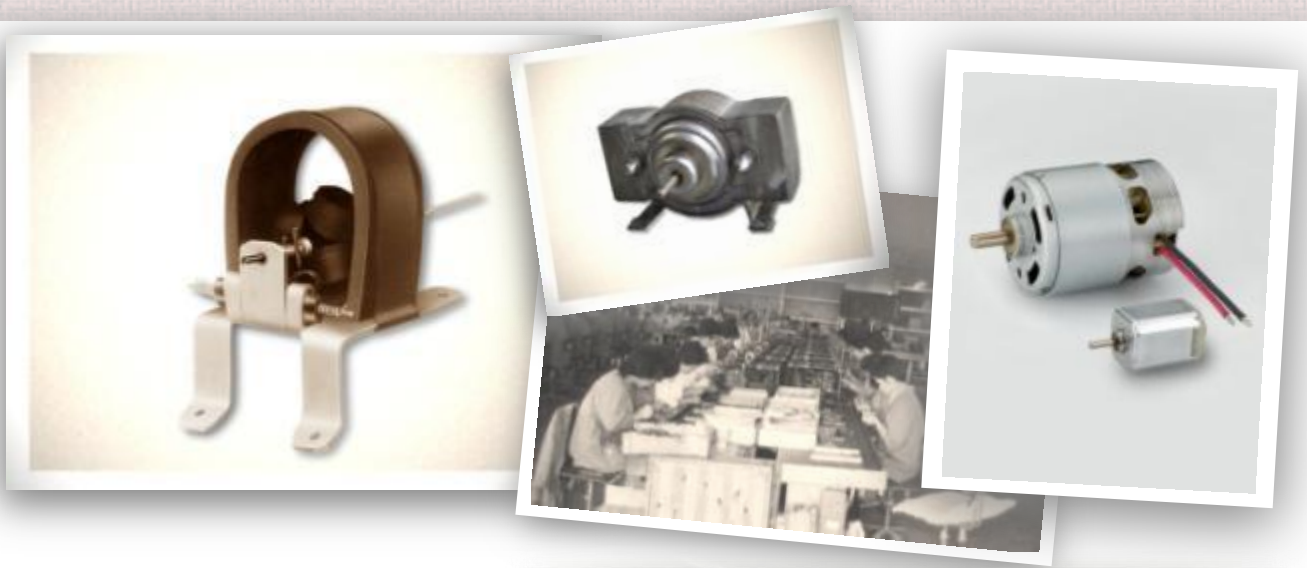


Social & Environmental Report 2013

マブチグループ
社会・環境報告書 2013





『夢に力を』

マブチモーターは「夢」とともに生まれ、育ちました。

子ども達の夢、技術者の夢、お客様の夢…。そうした多くの人々が描く「夢」に応えることで、私達は歩み、成長し続けてきたのです。

そして変革の時代21世紀を迎えて、「モーター」という小さな機能部品は、今も世界中の人々の暮らしや社会のさまざまなシーンで新しい「夢」を創出し続けています。

私達は、今という時代、そして未来を見据えて、より良い製品をより安く安定的に世界中の皆様にお届けしていくことで、その「夢」の一つひとつを動かす「力」を生みだし続けていきたいと願っています。

会社概要

■ 商 号	マブチモーター株式会社 MABUCHI MOTOR CO.,LTD.
■ 創立年月日	1954年1月18日
■ 事業内容	小型モーターの製造販売
■ 資本金	207億481万円
■ 代表者	代表取締役社長 大越博雄
■ 従業員数	本社:732名 グループ:29,058名 (2012年12月末現在)
■ 連結業績	売上高 852億5千4百万円 当期純利益 63億8千5百万円 (2012年12月期)
■ 本社所在地	千葉県松戸市松飛台430番地 〒270-2280 TEL:047-710-1111(代表)
■ 技術センター	千葉県印西市竜腹寺280番地 〒270-2293 TEL:047-710-1222(代表)

マブチの環境活動の歩み

1993年	「経営基軸」において「地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う」ことを明文化
1997年	環境問題への具体的対応を図るため、「環境管理委員会」を設置
1998年	マブチグループの「環境基本方針」を制定
1999年	ISO14001の認証取得
2000年	グリーン調達活動開始 (モーターのカドミウムフリー化代替材選定評価完了)
2001年	「環境報告書」を発行開始 はんだの鉛フリー化量産準備完了
2002年	六価クロムフリーモーターのサンプル出荷開始
2004年	最新の省エネ技術を用いた本社新社屋竣工
2006年	全製品を、欧州RoHS/ELV指令適合品に切り替え 全拠点で「グリーン調達説明会」を開催
2008年	「環境・社会報告書」に変更 (社会活動についても掲載)
2012年	環境基本方針を改定し、「マブチグループ環境方針」とする

編集にあたって

当社は、2001年に「環境報告書」の発行を開始し、2008年からは、報告書のタイトルを「環境報告書」から「社会・環境報告書」に変更し、併せて掲載内容も当社の地球環境保全のための環境活動実績に加え、社会貢献活動実績の報告を始めました。

本報告書を通して、当社の企業市民としての社会的責任を果たす姿勢や状況についてご説明し、当社グループと関わる全ての方々とのコミュニケーションをさらに充実させ、より良い今後の活動を目指してまいります。

なお、環境配慮の観点から、印刷物ではなく、電子化(PDF)した資料をホームページに掲載しています。

CONTENTS

■会社概要	1
■編集にあたって	2
■トップメッセージ	3

社会性報告

■コーポレートガバナンス	5
■コンプライアンス	6
■リスクマネジメント	7
■活気のある職場づくり	10
■ものづくり・教育に対する支援活動	13
■地域支援活動	15

環境報告

■環境マネジメント	17
■環境コミュニケーション	18
■グリーン調達	20
■環境にやさしい製品づくり	21
■CO ₂ 排出量削減の取り組み	24
■環境リスクマネジメント	25
■環境データ	26

対象期間：2012年度(2012.1.1～2012.12.31)

対象範囲：モーターの設計、製造、販売、サービスの提供に関わる環境活動及び社会貢献活動の内容

対象組織：マブチグループ

[本社]

日本 ・マブチモーター株式会社

[生産拠点]

中国

- ・萬寶至實業有限公司(香港マブチ)
- ・万宝至馬達大連有限公司(大連マブチ)
- ・万宝至馬達(江蘇)有限公司(江蘇マブチ)
- ・万宝至馬達(東莞)有限公司(東莞マブチ)
- ・万宝至馬達瓦房店有限公司(瓦房店マブチ)
- ・万宝至馬達(鷹潭)有限公司(鷹潭マブチ)
- ・万宝至精工(東莞)有限公司(路東マブチ)
- ・東莞道ジャオ万宝至有限公司(道ジャオマブチ)
- ・万宝至馬達(江西)有限公司(江西マブチ)

台湾

- ・華淵電機工業股份有限公司(台湾マブチ)
- ・萬寶至馬達股份有限公司(高雄マブチ)

ベトナム

- ・MABUCHI MOTOR VIETNAM LTD.(ベトナムマブチ)
- ・MABUCHI MOTOR DANANG LTD.(ダナンマブチ)

[販売拠点]

- ・万宝至馬達(上海)有限公司(上海マブチ)
- ・万宝至馬達(上海)有限公司 重慶分公司(重慶マブチ)
- ・万宝至馬達貿易(深圳)有限公司(深圳マブチ)
- ・華淵電機工業股份有限公司(台湾マブチ)
- ・MABUCHI MOTOR KOREA CO.,LTD.(韓国マブチ)
- ・MABUCHI MOTOR (SINGAPORE) PTE.LTD.(シンガポールマブチ)
- ・MABUCHI MOTOR (EUROPE) GmbH(ヨーロッパマブチ)
- ・MABUCHI MOTOR AMERICA CORP.(アメリカマブチ)

発行：2013年5月 (次回発行：2014年5月予定)



トップメッセージ

専業メーカーとして小型直流モーターの可能性を徹底的に追求し、 持続可能な社会の実現に貢献を果たす

マブチモーターは、1971年に経営理念として「国際社会への貢献とその継続的拡大」を掲げました。以降、経営理念はマブチグループにおける全ての活動を貫く根本的な考え方として、時代を超え、国境を超え、その志は受け継がれています。経営理念の着実なる実行こそが、企業として永続する唯一の道であると確信しています。

一方、企業は社会から切り離されて存在することはできず、社会の永続なくして企業の永続はあり得ません。近年のCSR・CSV等を巡る議論においても、企業として当然求められるガバナンスやコンプライアンス、企業市民としての社会貢献活動等に加え、企業の本業を通じて企

業と社会に共通する価値を創造することの重要性が指摘されています。つまり、CSRは本業そのものであるという考え方であり、当社の経営理念とまさに一致します。当社が手掛ける小型直流モーターは、軽量で高効率という特長を有しており、また、当社はそのエキスパートを多数擁しています。小型直流モーターの優れた特長と当社の技術と知恵を活かし、お客様の最終製品の小型・軽量化や省電力化、社会全体の省資源・省エネルギー化に貢献することこそ、専業メーカーである当社の最重要使命と捉え、小型直流モーターの可能性を徹底的に追求し、その価値を磨き上げることに注力いたします。



2013年5月
マブチモーター株式会社
代表取締役社長

大越 博雄

また、当社は海外事業展開による進出国での雇用の創出、技術移転を行い、マーケットに安価で性能・品質の良い製品を安定的に供給することで、その経済発展に貢献しています。さらに、当社は企業市民としての社会貢献活動についても積極的な取り組みを行っておりますが、特に私達がこだわりを持っている活動は、将来の社会を担う青少年に対するモーターを通じた教育支援であります。マブチモーターの原点は、世の中の子ども達が安全に楽しめる動力を作りたいという思いから始まり、誰もが入手できる価格で電動玩具を届けるために、良質で安価な玩具用モーターづくりに打ち込んだ創業期の思いにあります。モーターは子ども達にとって、楽しく、面白いものであり、モーターとの出会いは、『ものづくり』

や「技術」に関心を持つきっかけにもなります。未来の社会を創造する主役は人であり、特に、次世代の技術者の育成は、国際社会にとって極めて重要です。当社モーターとその「技術」、そして『ものづくり』を体験する活動を通じて未来を担う技術者の育成に貢献することができれば、私達の大きな喜びであります。

世界のマブチグループ全社員は経営理念を共有しており、企業は社会に貢献するため、人々の幸せに寄与するために存在するとの認識を持ち、日々の活動に取り組んでまいります。皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

経営理念 国際社会への貢献とその継続的拡大

経営基軸

1. より良い製品をより安く供給することにより、豊かな社会と人々の快適な生活の実現に寄与する
2. 広く諸外国において雇用機会の提供と技術移転を行い、それらの国の経済発展と国際的な経済格差の平準化に貢献する
3. 人を最も重要な経営資源と位置付け、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる
4. 地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行う

経営指針

1. 汎用性を重視した製品を開発し、その最適生産条件を整備する
2. 価値分析に徹した製品の開発改良と部品・材料の共通化を徹底する
3. 高度加工技術とムダの極小化によるコストダウンを追求する
4. 新市場を開拓し適正占有率を確保する
5. 適材適所による人材の活用と業務を通じた人材育成を行う
6. 環境負荷の極小化と安全の追求を基本とした企業活動を推進する
7. 長期安定的視点に立つ経営施策を推進する

■基本的な考え方

当社は、小型モーター事業を通じた「国際社会への貢献とその継続的拡大」を経営理念に掲げ、その実現にこそ存立意義があるものと認識しております。

- ① 経営上の意思決定と効率的な業務執行が明確な区分をもって行われ、責任の所在が明らかであること
- ② 適切な内部統制システムが構築され、運用されていること。すなわち、内部牽制システムと経営監視体制が有効に機能していること
- ③ 一般株主と利益相反のおそれのない独立役員が相当数選任され、経営監視機能の客観性及び中立性が確保されていること
- ④ 企業文化として、企業倫理とコンプライアンスの実践が、組織の社会的公平性を支え、全てのステークホルダーに対する信頼と期待に応える基本であるという認識がグループの全員によって共有されていること
- ⑤ 株主をはじめとするステークホルダーに対し、適正、公平、適時、明瞭に企業情報の開示を行うとともに、取締役会・監査役会等によるアカウンタビリティが確保されていること

当社は、これらが確実に実践されるための各種機能をより充実させていきます。

■体制・システムの構築

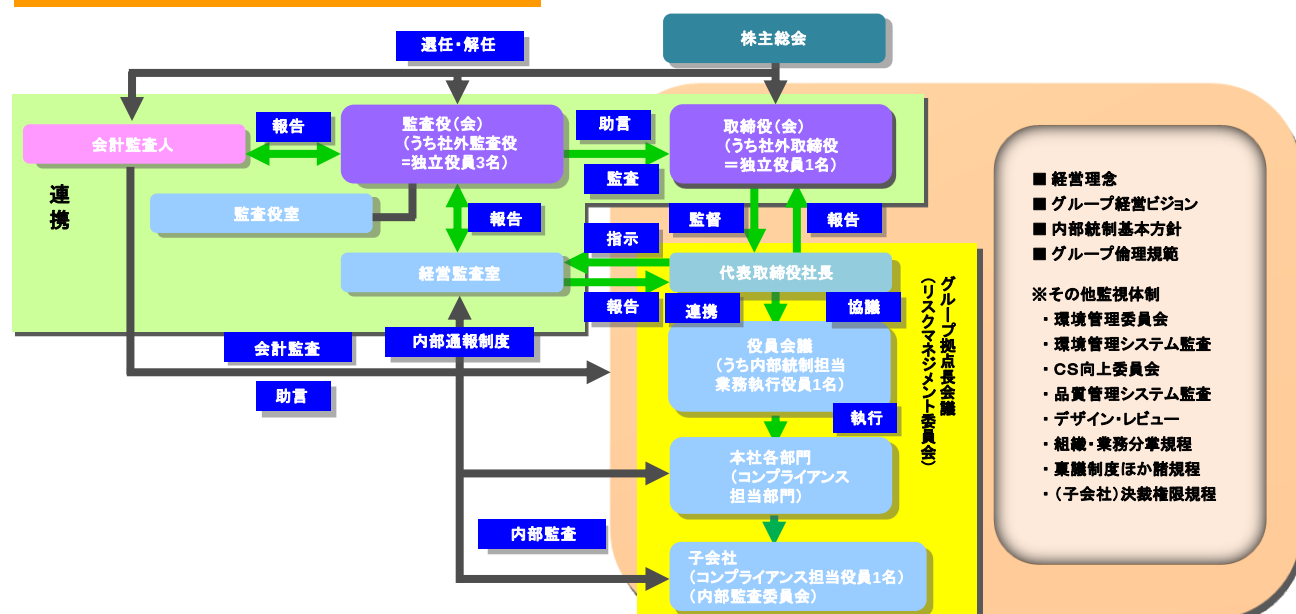
当社は、監査役制度を採用しており、会社法に規定されている会社の機関（独立役員を含む）、会計監査人等が、それぞれ法令に基づく機能を果たし、加えて当社独自で設置する役員会議、経営監査室（内部監査部門）その他の業務執行や内部牽制に係る組織によって当社ガバナンス全体の体制とシステムを構築し運営されています。

海外拠点においても、それぞれの国の法令等に基づく機関や当社の内部組織によって内部統制が実施されています。

グループ経営ビジョンを通してグローバルに企業文化や価値観を共有するとともに、海外拠点経営者会議をはじめとするマブチグループ全体の会議の開催や経営監査室による海外拠点の業務監査の実施などにより、マブチグループ全体の内部統制機能の向上に努めています。

また、当社は「内部統制基本方針」を制定し、リスクマネジメント体制やコンプライアンス体制の更なる強化、充実を図っています。

コーポレート・ガバナンス体制（模式図）



■ マブチモーター倫理規範

当社は、経営理念として掲げる「国際社会への貢献とその継続的拡大」を実現していく上で、各国・地域の法令・条例・規則などを遵守するのは勿論のこと、社会から求められる企業倫理に沿った事業活動を行うことを大前提としております。

そのため、それらの行動や判断の基準を定めた小冊子「マブチモーター倫理規範」を発行し、当社グループ全役員・社員に配付しています。同冊子は、時代とともに変化するビジネス環境に適応するため、適宜改訂しています。

倫理規範の中でも特に重要な項目については、ルールや手順を整備し、また、必要な対象者に教育・研修を行い、その周知を図っております。

海外拠点に対しても、中国、アジアの生産販売拠点で関係者を対象に研修会を実施するなど、当社は、コンプライアンスを重視した経営を目指していること及び新版「マブチモーター倫理規範」の周知徹底を行い、コンプライアンス意識の向上を図ってまいりました。

2011年5月には、コンプライアンス体制の一層の強化・充実を図るため、本社取締役会承認のもと、グループ全拠点においてコンプライアンス担当役員を設置しました。コンプライアンス担当役員は、本社の内部統制担当役員による統括の下、個々の拠点におけるコンプライアンス活動に関する責任者として、拠点内の内部牽制の強化と自律的かつ継続的なコンプライアンス活動の推進に関する中心的な役割を担います。

さらに、2012年には、法改正等に対する適時対応に資することを目的として、全ての拠点において、「マブチモーター倫理規範」に係る法令監視体制を確立いたしました。

また、これらコンプライアンスに関する業務遂行の不備などの継続的な是正・改善を目的として、本社の

内部監査部門が、コンプライアンスに関するルールや手順の順守状況、その他の倫理に反する行為について、全海外拠点を含め、定期・不定期に監査を行い、その結果を経営トップに報告しています。

■ 倫理規範ホットライン

コンプライアンスに関する情報の伝達や相談について、通常のルート（上司や組織部門の窓口など）とは別に、内部監査部門が管理する匿名性が担保された「倫理規範ホットライン」を設置しています。

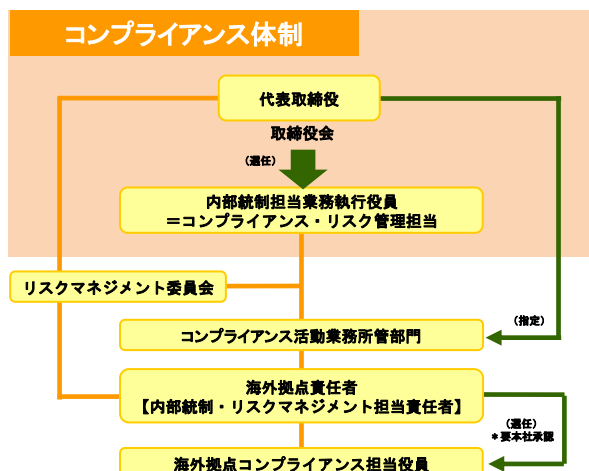
また、この制度の利用の如何に拘らず、公益通報者保護法を遵守し、相談者の不利益を発生させないことを会社が約束するトップメッセージを、役員を含む全社員に発信しています。

当社は、お取引先様とは日頃から誠実で公正なお取引引きと相互信頼関係の構築に努めていますが、社会的な不祥事が多発している情勢に鑑み、問題発生への未然防止ならびに拡大防止体制を強化するために2008年より、「倫理規範ホットライン」の対象範囲を、社員のみなさんのお取引先様の一部に拡大しています。



【倫理規範基本方針（概要）】

1. マブチグループの全ての役員・社員は、会社の利益や業務に優先して、会社所在国・地域の法令・条例・規則及び国際ルールを守ります。
2. お取引先様をはじめ、株主・投資家、地域社会など広範な利害関係者への責任を十分認識し、社会倫理に反する行為を厳に慎みます。
3. 法規則、社会倫理の中でも特に注意を要する事項に関しては、規程類などに明確に記載し、周知徹底を図ります。そして、全ての役員・社員は、これらを誠実に守ります。



■ リスクマネジメント体制

当社が、経営理念を実現し社会的に有用な企業として持続的な成長軌道を確実なものにするためには、事業活動上のさまざまなリスクに対する適切な管理が求められています。

このため、リスク発生の未然防止やリスクが発生した場合の損害の最小化を目的としてリスクマネジメント委員会を設置し、当社グループ全体として最適な対応を可能とする体制を確立しています。また、この体制をベースに、緊急時における対応体制・方針・各種マニュアルなども整備しております。

リスクマネジメント委員会では、全組織的に対処すべき重大なリスクを①人命（安全）確保、②コンプライアンス、③情報セキュリティ、④生産・供給停止に分類・特定し、それぞれリーダー部門を決め、経営陣と関連幹部社員とで連携を図りながら、マブチグループ全体でのリスク対策活動を継続的に実行しています。

また、各部門が業務上個別に抱えるリスクへの対応については、マブチグループの目標管理制度に組み込まれ、トップマネジメントの承認、進捗管理の下、部門ごとに展開しています。

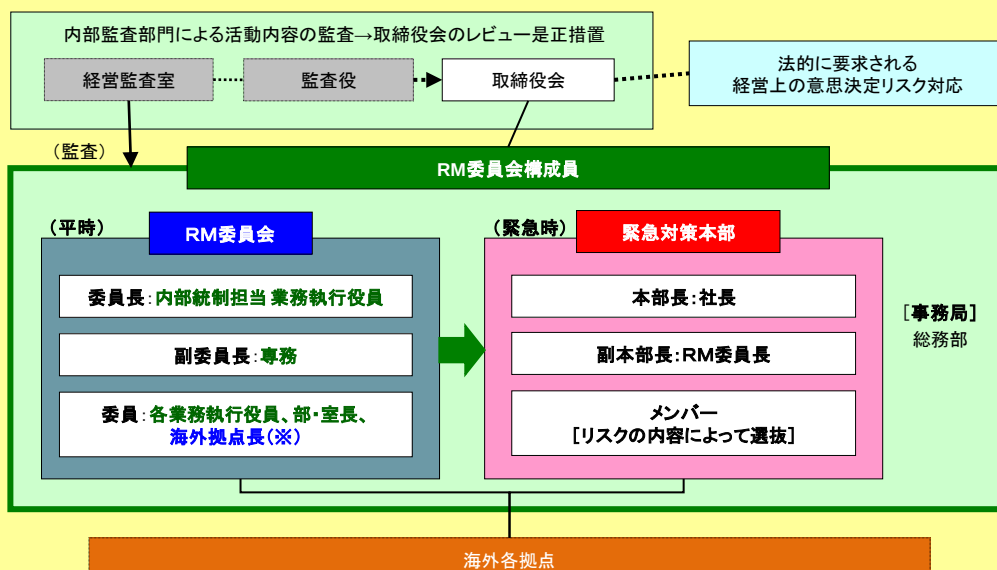


緊急対策本部への報告訓練（本社）



高所転落防止訓練（本社）

RM（リスクマネジメント）委員会の位置づけ



※ 海外拠点長は非常勤メンバーとする(RMに関して必要な情報共有は随時行う)

■災害対応マニュアル&災害時用備蓄品

当社では、「管理職の初期行動・指示マニュアル」のほかに、「災害時一般社員行動マニュアル」(右上)の作成、「大規模災害発生時緊急対応カード」(右下)の配付、「安否確認システム(全社員対象)」の導入などを行うとともに、役員(緊急対策本部の設置・運営)はもとより、人事部門、総務部門(ビル管理業務委託先を含む)、情報システム部門などの災害時に重要な役割を担う部門において対応マニュアルを策定しております。

また、年に1回以上、防災教育や各種訓練(避難・通報・消火訓練、救急救護訓練、安否確認訓練、帰宅報告訓練ほか)を定期的実施し、全社員が落ち着いて適切な行動をとれるように努めております。

さらに、災害時に必要な備品・資機材や飲食料、生活用品を備蓄し、災害発生時の安全確保や帰宅困難者に対する備えにも万全を期しています。特に、地下水を飲料水として日常的に使用している当社は、断水時にも相当量の飲料水が確保できることから、松戸市と給水協定を締結し、地域の被災者に対する給水支援を行える準備もしています。



「地震リスク対応計画(役員・幹部社員用)」「一部抜粋」

<地震リスクマネジメントの基本方針>

- 人身の安全確保を最優先する。
 - 会社資産の保全と被害の拡大を防止する。
 - 地域社会への救援・支援に努める。
 - 海外拠点における営業活動及び生産活動を継続し、供給継続に努力する。
- 供給継続が困難となった場合、1週間以内に復旧する。

<資機材等の備蓄・管理>

- 帰宅困難者の発生に備えて、3日間生活できる分量の飲食料およびトイレ用水を備蓄する。
- 停電時の対策として、緊急対策本部運営およびコンピュータシステム保護のために必要な自家発電装置及び燃料(24時間稼働分)を備える。
- 災害時優先電話を本社屋に2回線常備する。
- 安全衛生委員会と協働し、設備・什器・備品等の転倒防止策を講じる。
- 施設・什器・備品等の復旧または応急措置、被災社員の支援、地域社会に対する支援を目的に、必要な機器・機材等を備える。
- 想定外の被害が生じ、または何らかの理由で社内生活が不可能となった場合に備え、近隣指定避難所の場所を確認しておく。



消防署指導のもと実施した避難・消防・救助訓練の様子(本社)

■情報セキュリティポリシー

当社は、私どもの活動がステークホルダーの皆様にごのような影響を与えているかを真摯に見つめ、事業活動のあらゆる面で一層信頼される組織作りを目指しております。

当社は私どもが保有する情報資産の管理及び情報セキュリティ管理を適切に行い、情報の漏洩、改ざん、滅失、盗難等を防止することが企業の社会的責務の一つであると認識し、役員を含めた全ての従業員が情報セキュリティの必要性及び責任について理解を深めるとともに、ここに情報セキュリティポリシーを定め、情報セキュリティの確保に万全を期してまいります。

(体制)

1. 当社は、「リスクマネジメント委員会」を設置し、その活動を通じて、情報セキュリティに関する継続的な取り組み、評価、改善が可能な体制・仕組みを構築します。

(情報資産の保全・管理)

2. 当社は、情報資産を適切に分類、整理し、その重要性に応じた情報セキュリティ対策をとるとともに、情報の取り扱いについて細心の注意を払い、厳重に管理します。

(コンプライアンス)

3. 当社の役員、社員、その他の従業者（以下「当社の社員等」という）は、情報セキュリティに関する法令、社内規程及びお客様との契約上の義務を遵守します。

(教育)

4. 当社は、当社の社員等が情報セキュリティの重要性を理解し行動できるよう、必要な教育・訓練を継続的に実施します。

(本ポリシー等の見直し)

5. 当社は、法令や諸制度の変更、その他の社会環境の変化、社内外の監査の結果等を踏まえて、必要に応じて本ポリシー及び関連社内規程類の見直しを行います。

■個人情報保護方針

当社は、個人を識別し得る情報（以下「個人情報」という）を適切に取扱い、保護することを当社の重要な責務であると認識し、以下の方針に基づき個人情報の保護に努めます。

1. 個人情報保護の社内体制

当社は、業務上使用する個人情報について、その適正な取扱いを実現するための社内体制を構築します。

2. 個人情報の適切な取得及び利用について

当社は、個人情報の取得に際しては、利用目的をできる限り明確にし、適法かつ公正な方法によって取得します。また、取得した個人情報は、特定した利用目的の範囲内でこれを利用します。

3. 個人情報の第三者への非開示について

取得した個人情報は、以下の場合を除き、第三者に提供、開示しません。

- ①ご本人の同意を得た場合
- ②個人情報の取得時にご本人に通知または公表した利用目的の達成に必要な範囲内で、当社の子会社、代理店、秘密保持契約を締結した業務委託先に提供、開示する場合
- ③法令により開示が認められている場合
- ④その他、法令等に照らして必要があると判断した

4. 個人情報に関するお問合せへの対応について

当社は、ご本人からの個人情報に関するお問合せについては、所定の窓口にて対応いたします。

5. 個人情報の安全管理について

当社は、保有する個人情報の紛失、改ざん、漏洩を防止するため、必要なセキュリティ対策を行います。

6. 役員・従業員等への教育について

当社は、当社の役員・従業員等（契約社員、パートタイマー、アルバイト、派遣社員を含む）が個人情報の重要性を理解し、適切に取扱うよう教育、啓蒙活動を実施します。

7. 個人情報に関連する法令等の遵守について

当社は、個人情報の取扱いに関して、個人情報の保護に関連する法令、規範を遵守します。

8. 個人情報保護の取組みの継続的な改善について

当社は、個人情報の保護に関する取り組みについて、継続的な改善に努めます。

当社は、経営基軸の一つに「人を最も重要な経営資源と位置付け、仕事を通じて人を活かし、社会に役立つ人を育てる」を掲げ実行しています。海外拠点も含め、社員としての基本的権利を尊重し、社員一人ひとりが自己実現、自己成長ができ、働きがいを感じられる職場づくりに積極的に取り組んでいます。

■人事評価制度・自己申告制度

当社の人事評価制度は、さまざまな役割を果たす社員一人ひとりの貢献を的確に把握し、会社の成長と社員の成長がともに実現できることを目指しています。そして、この制度をマネジメントツールとしてだけでなく、人材育成ツールとしても積極的に活用しています。

また、社員一人ひとりのやる気と能力を引き出し活用するためには、「適材適所」と「職場風土醸成」が重要です。それを検討し実現する上での必要情報として、社員の職務に対する意識を把握することを目的とした定期的な社員の自己申告を実施しています。

■短期実務交流制度

考え方の共有や協働意識の醸成、総合力アップを狙いとして、海外拠点スタッフの当社への出張機会を意識的に設け、実務を通じた交流を2009年から実施しています。今後もこの制度を充実させながら、継続的に実施していきます。



本社にて実務を行う海外拠点技術者（本社）

■従業員が学び成長できる研修制度

会社が行う教育（研修）制度は、研修を受けた社員が自律性を持ち、自ら学び成長していくための一つのプロセスと考えています。そのため、新入社員研修、若手中堅職研修、中堅職研修、管理職研修、経営戦略講座など、社員のレベルに合わせた研修・講座を随時行っています。

■ワーク・ライフ・バランス

当社は、社員がやりがいや充実感を持ちながら働くとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じた働きやすい環境づくりを推進しています。

そこで、厚生労働省が奨励する「ファミリー・フレンドリー施策」を展開し、仕事と育児・介護が両立できるように次の施策を整備し、社員が活用しています。

- ・育児休業（3年）
- ・育児休業中の自己啓発支援
- ・配偶者出産時休暇制度：取得率100%
- ・不妊治療のための低利融資制度
- ・ベビーシッター育児支援割引券の利用
- ・介護休業（1年）
- ・介護休業中の自己啓発支援
- ・育児・介護のための勤務時間短縮や所定外労働免除などの措置の導入

■障がい者雇用促進

当社は、障がいのある人がない人と同様に、その能力と適性に応じた雇用の場に就き、地域で自立した生活を送ることができるような社会の実現を目指して雇用を促進しています。

大連マブチでは、現在全従業員に占めるその割合が、中国の雇用条例数値を上回る1.7%（2012年12月実績）となっており、社内での生活、仕事などあらゆる面において、障がいを持つ人の特徴を配慮した措置を設け、一人ひとりが快適に仕事ができる環境づくりに努めています。



障がい者が働きやすい職場づくり（大連マブチ）

■心と身体の健康への取り組み

社員の心と身体が健康で、生き生きと働けることが、社会生活の基礎であり、合わせて企業の活力向上につながると考え、本社では20年以上前からメンタルヘルス調査を実施するとともに、社内カウンセラーの設置や「メンタルヘルス講習会」の開催をしています。

また、人間ドックを受診希望する35歳以上の社員に対する受診費用補助や、健康診断後に産業医による健康相談、生活習慣病予防のための「社員健康教室」開催などを行っています。

海外拠点においてもそれぞれの国や地域の状況に合わせて、社員の心と身体の健康への取り組みを展開しています。



メンタルヘルス講習会
(東莞マブチ)



乳がん検診車
(台湾マブチ)



太極拳教室
(東莞マブチ)

■社員の読書活動の支援

東莞マブチでは、社員が余暇を充実させ、また読書を通じて知識・心の成長を図るため、工場内社員図書室を開設しています。2012年は、社員に読んでもらいたい図書の寄付活動を行い、計263人の社員から687冊の図書が寄付されました。また、優秀読書感想文（500～1000字範囲）コンテストも行われ、1等賞1名、2等賞3名、3等賞5名がそれぞれ選出されました。



読書感想文コンテストの優秀者
表彰式（東莞マブチ）

■教育支援制度・資格取得奨励制度

○英語学習支援制度

社員が国際社会への貢献を具現化できるよう、会社全体で英語を学習する風土づくりと各種施策（「TOEIC受験」の機会提供、TOEIC対策講座、短期留学制度、トレーニー制度など）を行っています。

○資格取得奨励制度

社内に「自ら学ぶ風土」を醸成し、業務遂行に役立つ知識を幅広く習得することを狙いとして「資格取得奨励制度」を設け、自己啓発を促進しています。

○多目的自習室（SAL＝Self-Access Learning room）を開設

語学や資格取得に向けて、個人の目標・レベルに合わせた学習や、グループディスカッションなどに利用できるように部屋を社内に開設しました。ここには、パソコン・無線インターネット環境・各種教育ソフト・書籍・雑誌などを用意し、各自が業務前後・休み時間などを活用して自己啓発に役立てるようになっています。



インターンシップ制度で
来社した海外留学生
による語学教室
(SALにて)

Voice



アメリカマブチでトレーニー制度を活用

現地会計担当者に教えていただくことで、会計業務に関する理解を深め、マブチグループ全体をみて仕事を考えることができるようになりました。業務以外の時間では、現地のテレビ番組を見たりさまざまな国籍のレストランに行ったり米国での生活を楽しむことができ、機会を与えていただいたことに感謝しています。（本社員）

※トレーニー制度：海外拠点にて、現地社員の補助業務を行いながら、実践の場でビジネス英語を向上させます。

■社員や家族が楽しめるイベントの開催

当社は会社で働く全ての人々のコミュニケーションの円滑化と社員の愛社精神及び一体感の醸成を目的に、さまざまな活動を行っています。

本社では、毎年秋に家族やＯＢも含めて本社グラウンドに招待し「ガーデンパーティー」を開催しています。パーティーでは、管理職や有志による飲食店や遊べる模擬店が開かれるほか、大抽選会なども行われます。

また、大連マブチ・東莞マブチをはじめ、各海外拠点でも、定期的にスポーツ大会や社員旅行、文化祭などを開催しています。



ボウリング大会（本社）



ガーデンパーティー（本社）



社内スポーツ大会（大連マブチ）



文化祭でダンスを披露する社員（大連マブチ）



大連市主催の健康歩行大会に参加（大連マブチ）



中国儒教文化講座を開催（東莞マブチ）

ものづくり・教育に対する支援活動

当社は、経営理念「国際社会への貢献とその継続的拡大」を实践すべく、地域社会・国際社会への支援活動を行い、広く社会の発展に貢献しています。中でも、未来を担う学生・子ども達に「ものづくり」や「理科」の楽しさを伝え、成長をお手伝いできる活動に力を入れています。

■ ロボコンへの協賛

当社は、未来を担う若き技術者の育成と科学技術の発展に寄与できることを願い、2002年より「高専ロボコン」「A B Uロボコン」、2004年より「大学ロボコン」に協賛し、継続して大会運営支援やモーターの提供などを行っています。

モーター支援

高専ロボコンへのモーター支援 約1,200個



ギヤヘッド付RS-555VC (上)
ギヤヘッド付RS-385PH (下)



JC/LC-578VA
他



大学ロボコン2012



A B Uロボコン2012



高専ロボコン2012

■ 理科出前授業

2008年より毎年、当社社員による理科出前授業を本社所在地域（松戸市）の小学校を対象に実施しています。

2011年からは、江蘇マブチ社員による出前授業を中国蘇州日本人小学校で実施しています。



社員講師の話を熱心に聞く生徒たち



江蘇マブチ社員による出前授業

■ 夏休み工作教室

本社所在地域（松戸市）の子ども達（小学4～6年生）を対象とした「夏休み親子モーター工作教室」を毎年開催しています。この教室は、当社の社員が講師をつとめ、モーターと身近な廃材等を使った、動きリサイクル工作を、親子で協力して制作していただくものです。毎年全員が完成し、自分の工作进行かして喜ぶ声があがります。



各班に必ず一人サポート講師を配置



簡単発電機と回転台

■ 職場体験

当社では、地域小学校のキャリア教育の一環で行われている職場体験を継続的に受け入れています。

大連マブチでは、支援している希望中学校の生徒を招待し、職場体験を実施しています。



本社／技術センターでの職場体験



大連マブチでの職場体験

■ インターンシップ制度

これから社会に出ていく学生に就業体験の機会を提供し、働くことを実感してもらうことで当社の理念の理解を深めるインターンシップ制度を行っています。

2012年は米国の大学生と地元の高専生のインターンシップを受け入れました。



■ 科学技術館での展示、イベント実施

1983年より科学技術館（東京都・千代田区）にて常設展示を行い、モーターの基本原理や私達の暮らしの中で活躍しているモーター、モーター工作などをわかりやすく紹介しています。

また、2009年度から科学技術館との共催で、モーターの回る原理などを説明する理科実験教室を開催しています。



技術系社員による
理科実験教室

Voice

アメリカからの インターンシップ生

実際に設備を使って測定したり、開発に携わる方々との交流を通して、「ものづくり」の楽しさを感じることができました。



■ 奨学金及び校舎建設の支援

大連マブチでは、1996年から地域の小学生から大学生までの生徒に対して、校舎の建設や奨学金の支給などの教育支援を行っています。この貢献は地元政府より複数の表彰を受けています。



2012年大連市政府より
希望工程貢献賞受賞



大連マブチ希望小学校の生徒と一緒に



大連マブチの寄贈により作られた
希望小学校の図書室

当社は、地域の環境保護、自然災害による被災後の復興支援活動及び社会福祉活動などを継続的に実施しています。

東日本大震災への復興支援活動

2011年3月11日に発生した東日本大震災に被災された方々の救済や被災地の復興に役立てていただくために、マブチグループでは義援金支援を行ってきました。

また、2012年9月には、石巻市北上町十三浜大指の復興アクションによって建設された「大指十三浜こどもハウス」にて近隣在住の子ども達を対象に「マブチモーター工作教室」を開催しました。



植林・美化活動

当社は、グループ全体で工場周辺やその地域の清掃、美化活動を行い、緑化にも積極的に取り組んでいます。

工場近隣地域の清掃活動



(路東マブチ)



(大連マブチ)



(鷹潭マブチ)

植樹活動



(道ジャオマブチ)



(大連マブチ)



(東莞マブチ)

TOPICS



マブチグループの社員は、ボランティアとしてさまざまな社会貢献活動に参加しています。

東莞マブチでは、2010年から2011年の間に計80回以上ボランティアとして地域貢献活動に参加した社員(写真右)が、2012年に東莞市政府から「優秀な新東莞人」として表彰されました。

■ 献血活動

当社は、グループ全体で積極的に献血活動に協力しています。



本社



台湾マブチ



東莞マブチ

■ 社会福祉支援活動

当社は、グループ全体で児童養護施設や老人ホームへの慰問活動を定期的に行っています。



ハンセン病患者病院への慰問活動
(東莞マブチ)



老人ホームへの慰問活動 (左/東莞マブチ、右/大連マブチ)



■ 地球環境保全活動への支援活動

地球環境保全活動にも積極的に協力、支援しています。



東莞政府主催の低炭素自転車千人進行活動に参加
(東莞マブチ)



地球環境保護活動を実施 (大連マブチ)



毎年中秋節に、社会福祉団体：
仁愛福利基金会へ月餅を提供
(台湾マブチ)

当社は、1999年より本社及び全生産拠点に「環境マネジメントシステムISO14001」を導入し、認証を取得しています。また、グループ全体及び本社・各拠点・各部門において環境目標を設定、徹底したPDCA管理により、積極的に環境マネジメントに取り組んでいます。2012年に、環境方針を改訂し、これからも環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進し、高いレベルの環境保全活動を実施していきます。

■ 環境マネジメントシステムの構築

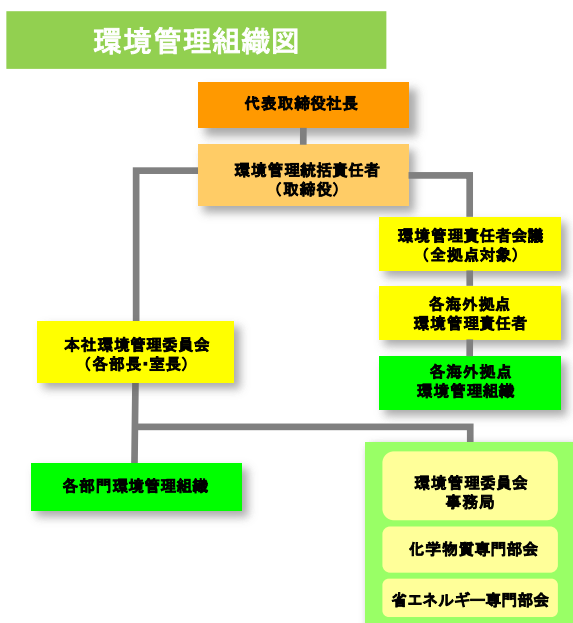
当社は、取締役が環境管理統括責任者として、グループ全体の環境マネジメントシステムを管理しています。本社には、環境管理委員会を設置し、この環境管理委員会は環境管理統括責任者が委員長となり、各部長・室長で構成され、マブチグループの環境方針、目標、施策などの審議、決定を行います。また、環境管理委員会の下には、化学物質専門部会、省エネルギー専門部会を設け、それぞれ専門的な施策立案を提案し環境保全活動を推進しています。

■ 環境監査

当社の環境マネジメントシステムがISO規格の要求と合致しているか、有効に運営されているかについて、毎年、審査登録機関（第三者）及び社内の監査部門により監査を行っています。

これらの監査を通じて、環境管理レベルの継続的維持・向上を図っています。

環境管理組織図



マブチグループ 環境方針

私達は、地球環境と人々の健康を犠牲にすることのない企業活動を行い、環境マネジメントシステムを通じて継続的改善に努め、持続可能な社会を目指します。

1. 環境関連の法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、環境汚染の予防・防止に努め、事業活動が環境に与える影響を常に認識し、自主基準を設定して管理します。
2. 事業活動に伴う主要な環境負荷を軽減するため、以下について重点的に取り組みます。
 - 2.1 CO₂の削減と限りある資源を有効活用するために、省エネルギー、省資源化、リサイクル及び廃棄物の減量化に積極的に取り組みます。
 - 2.2 製品及び製造過程において、環境負荷物質の管理を徹底し、環境に負荷を与える物質は可能な限り代替物質への転換を行います。
 - 2.3 環境に配慮した部品・材料を積極的に使用する“グリーン調達”を行います。
 - 2.4 生物多様性の保全を企業の重要な課題と認識し、生態系に配慮した取り組みを推進します。
3. 従業員一人ひとりの環境に対する意識の高揚を図るため、積極的に教育活動を行います。
4. この環境方針は、全従業員に周知すると共に、社外に公表します。

制定： 1998年9月27日

改訂： 2012年11月7日

当社は、さまざまな媒体を通じて、環境への取り組みにおける理念や、環境マネジメント活動の情報を社内外に向けて発信しています。これらの活動を通じて、社員にはもちろん、お取引先様をはじめ、広く社会の皆様に、当社の環境保全への姿勢、取り組みへの理解を深めていただけるようにしています。

■社会・環境報告書の発行及びホームページによる環境情報発信

当社は、2001年より、当社の社会貢献、環境保全活動の実績をまとめた「環境報告書」（2008年に社会・環境報告書に変更）を作成し、ホームページ上で公開しています。

また、大連マブチが発行した「持続可能な発展報告書」は、2010年から2012年まで連続で、大連市環境保護局より大連市最優秀報告書に選出され、表彰されました。



ホームページ環境・社会貢献活動情報/左
大連マブチ発行の環境報告書/右

■環境コミュニケーション活動の展開

会社所在地近隣住民や企業、行政機関、お客様など幅広い層の方々に対し、環境コミュニケーション活動を積極的に推進しています。



市民の方に環境保全意識を高める活動を実施しています（路東マブチ）

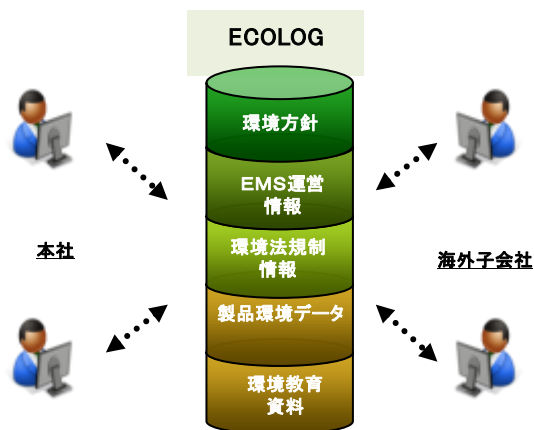


社内の環境保全知識コンテストの開催（大連マブチ）

■社員との環境情報共有

環境情報の共有化を図るため、社内イントラネット上に「ECOLOG」というデータベースを作成し、運用しています。本社をはじめ世界各地のマブチグループの社員が、このデータベースを通して、さまざまな環境情報を共有しています。

また、社内報を活用し、定期的に環境特集を掲載、当社の環境対応の現状や、最新の環境情報を紹介して社員の環境意識の向上を図っています。



■環境を考える標語・ポスター作品コンテスト

社員の環境意識の向上を図るために、2006年よりマブチグループ全体で「環境を考える標語・ポスター作品コンテスト」を毎年開催しています。



2012年度コンテスト受賞作品の本社展示

■環境教育

従業員の環境に関する意識、能力の向上を図るために、階層別、目的別の環境教育・訓練システムを構築し、実施しています。



廃棄物分別方法教育（本社）

2012年度の受賞作品

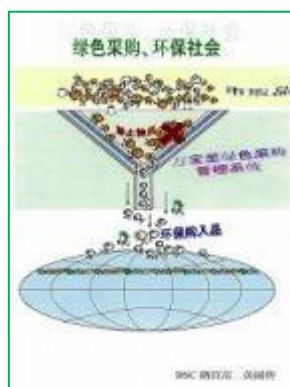
◇標語部門

- 節生産, 從自身做起, 降耗活動, 從現在開始
(私達から始める省エネ生産、今すぐ始める省エネ活動) (路東マブチ)
- 禍從污染起 福自環保來
(福はエコから、禍は汚染から) (大連マブチ)
- KHÓA NƯỚC, TẮT ĐIỆN, NHẶT RÁC. HÃY HÀNH ĐỘNG NHIỀU HƠN LÀ NÓI.
(蛇口を閉め、電気を消し、ゴミを捨てる等、口で言うより実行しよう) (ダナンマブチ)

◇ポスター部門



『「省」明日は我々が変わる』
(台湾マブチ)



『グリーン調達で環境を保護しよう』
(東莞マブチ)



『省エネは、その照明を消すことから。』
(東莞マブチ)

■グリーン調達の推進

2006年に「グリーン調達説明会」を全拠点にて行いましたが、その後新規のお取引先様も増えたことから、改めて2011年より各拠点にて開催しております。2012年6月には、台湾マブチにおいて台湾地域の新規のお取引先様を中心に行いました。その説明会において、マブチの

今後も、グリーン調達活動を進めていきます。



2012年グリーン調達説明会（台湾マブチ）

グリーン調達フローチャート



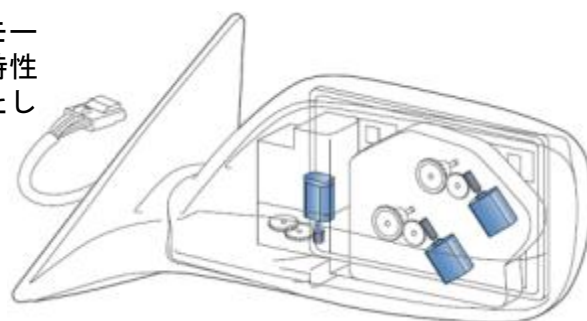
当社は、「小型直流モーター」の専門メーカーとして、お客様のニーズに応えながらモーターの持つ新たな可能性を追求し、さまざまな市場や用途で活躍するモーターを開発・生産してまいりました。モーター製品に有害な物質を含まないことを基本に、小型化、省電力高出力化、高リサイクル率といったモーターのライフサイクル全体を通じて地球環境の保全に取り組んでいます。

■ 自動車の環境性能をアップさせるモーター

2012年に販売開始された車載鏡面駆動用モーター『SF-136SA』は、既存品以上のトルク特性を維持しつつ、より小型・軽量化を実現いたしました。



SF-136SA



③ その他

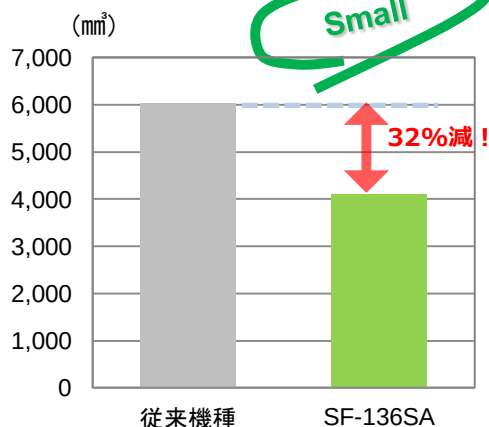
- ・ オプションの充実
- ・ パルスカウント(*)が容易
- ・ レアアース不使用
- ・ 電気ノイズが低い
- ・ 製造工程でのCO₂排出量の低減
- ・ 模倣防止対策

◇ SF-136SAの特徴

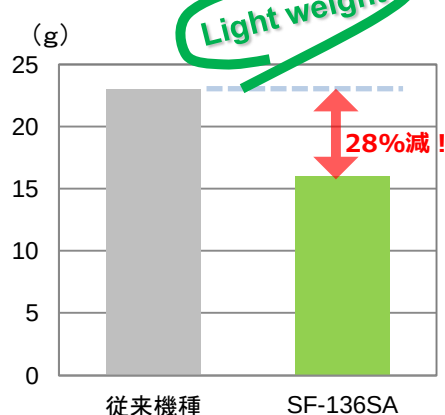
- ① 自動車燃費向上・メカ多機能化への対応
既存品以上のトルク特性を維持しつつ、体積・重量を約2/3化
- ② 低騒音・低振動化のニーズへの対応
音圧・振動レベルを大幅に改善（約1/4化）

*パルスカウント：ギアをバックに入れた際に、あらかじめ設定した鏡面位置に自動的に制御することに必要な技術

【体積比較】



【重量比較】



当社モーターの小型・軽量化により、自動車の低燃費、CO₂排出量削減などに貢献することで、環境にやさしい製品づくりの一端を担っています。

■業務用事務機器の環境性能をアップさせるモーター

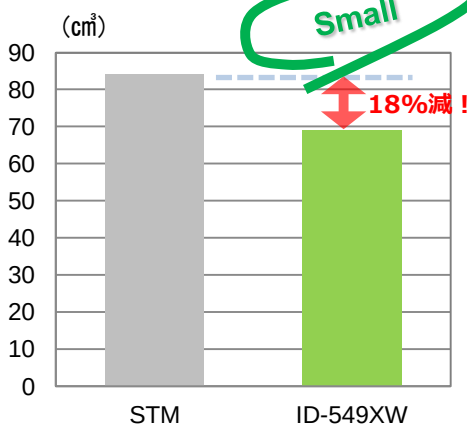
この度開発された『ID-529XW』と『ID-549XW』は、複写機・複合機（MFP*）に使用されるモーターで、小型・軽量・省エネ化に成功し、大幅に環境性能が向上しています。また、静音性にすぐれ、高制御性の要素も兼ね備えたDCブラシレスモーターです。そして、このIDシリーズは、駆動回路・エンコーダ内蔵のため、お客様製品のシステムが軽減し、トータルコストダウンにも貢献しています。



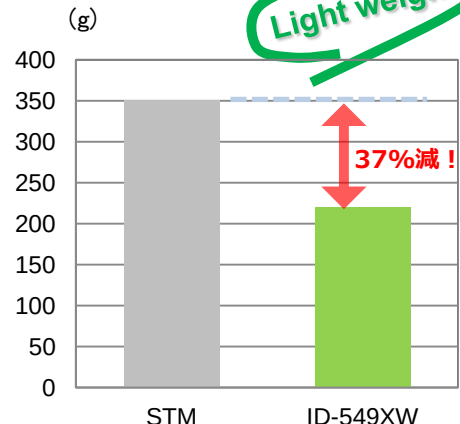
ID-549XW（左） ID-529XW（右）

*MFP：マルチ・ファンクション・プリンター

【体積比較】



【重量比較】



業務用事務機器分野においても、モーターの小型・軽量化による省資源化や省エネ化によるCO₂排出量削減などに貢献することで、環境にやさしい製品づくりの一端を担っています。

STM＝同等出力の2相HB型ステッピングモーター

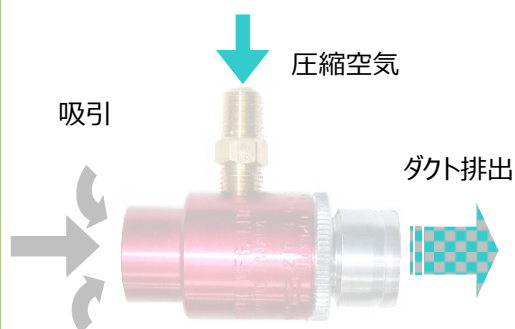
当社は、モーターの生産工程においても、省エネ、省資源化など環境にやさしい対応を心がけております。

対応例その1

CO₂排出量削減

溶接工程上で発生する煙の吸引方法を、圧縮空気による吸引から省電力ファンモーターへ変更しました。エネルギー効率の悪い圧縮空気による吸引から効率のよいモーターに変えることで、吸引能力を落とすことなく、エネルギー消費量を減らし、CO₂排出量を年間約2,300トン削減することが可能となりました。

エアムーバー(圧縮空気による吸引)



ファンモーター取り付け



対応例その2

消耗部品使用量削減

コミテーターとマグネットワイヤーを溶接する際に使用する電極の材質と溶接方法を見直すことにより、使用量を従来比23%削減し、省資源化を達成。同時にモーターの品質向上にもつながりました。

対応例その3

副資材使用量削減

モーターの製作工程上で使用する副資材の使用法見直しにより、使用量が48%削減され、生産現場における資源の有効活用を実現しました。

CO₂排出量削減の取り組み

当社は、地球温暖化を防止するために、海外生産拠点を含むマブチグループ全体で、継続的にさまざまな対策を実施しています。当社におけるCO₂排出は、主に電気使用によるため、特に電力使用量の削減に注力しています。

■ 本社での取り組み

本社では、長年にわたりCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響で必要とされた電力不足対策の一部は、震災対策に留まらず継続的に実施しています。

また、海外生産拠点の生産工程の見直し、生産設備改良などを実施した結果、2012年マブチグループ全体のCO₂排出量は、前年度より16.7%削減されました。

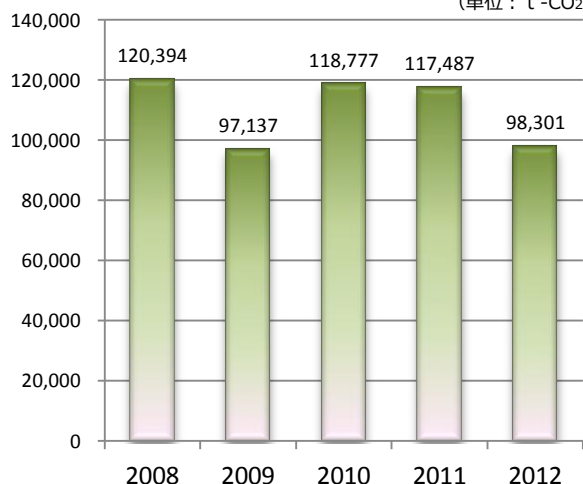
本社技術センターでは、2012年に、熱源供給方式を従来の熱源氷蓄熱から24H系熱源供給に変えたことにより、複数のポンプが不要となり、電力使用量を削減しました。



新たに導入した24H系熱源供給機（本社／技術センター）

2012マブチグループCO₂排出量推移

（単位：t-CO₂）



※ このグラフはマブチモーター本社及び主な海外生産拠点のデータを元に計算したものです。

■ 海外拠点の取り組み

生産拠点では、生産工程や生産設備の改良、工場ユーティリティ設備の省エネ対策などにより、CO₂排出量削減に継続的に取り組んでいます。

東莞マブチでは、ファンモーターのインバータ化により、排気風量を適正化し、一台あたりの年間電力使用量を25,396Kwh低減しました。



また、各生産拠点では、圧縮エアを使用する生産設備において、定期的に風量測定を行い、最適な風量に調整することにより、エネルギー使用量の削減に努めています。

当社は、環境に重篤な影響を及ぼす事故（環境事故）を未然に防ぐため、徹底した化学物質の管理を行うとともに緊急時の対応が速やかに行われるように訓練しています。また、土壌・水質汚染の調査・分析を行い、過去に使用した有害化学物質の残留が検出された場合には、速やかに適切な対応をしています。

■緊急事態発生時の対応訓練

当社は、緊急事態発生時の環境汚染の予防・拡大防止のため、各自の業務特性に合わせて、さまざまなケースを想定した緊急時の処置・通報訓練を年一回以上の頻度で実施しています。



LPG保管場所での緊急時対応訓練（大連マブチ）



浄化槽、緊急事態発生時の環境汚染の予防・拡大防止訓練（本社）



化学品漏洩時の緊急対応訓練（路東マブチ）



緊急事態発生時のコンデンサー油類漏洩防止訓練（本社）

■土壌浄化の取り組み

2002年、自主調査により本社敷地内の一部の土壌から環境汚染物質が検出されたため、管轄行政（松戸市）に汚染状況を届け、土壌の浄化作業を開始しました。

2004年には、子会社の工場閉鎖に伴う土壌汚染状況の調査からも環境汚染物質が検出されたため、管轄行政（群馬県）に届けるとともに、土壌の浄化作業を開始しました。

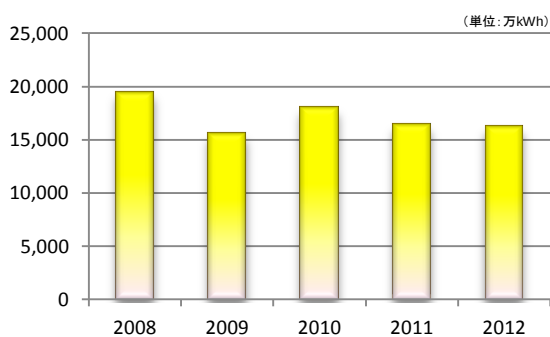
上記2箇所における高濃度汚染域の浄化は完了しており、現在は低濃度の汚染域の浄化を継続して行っております。

この浄化作業の実績及び今後の方針について、当社は毎年定期的に松戸市及び群馬県の行政機関に報告し、了解を得た上で次年度の浄化に着手しています。

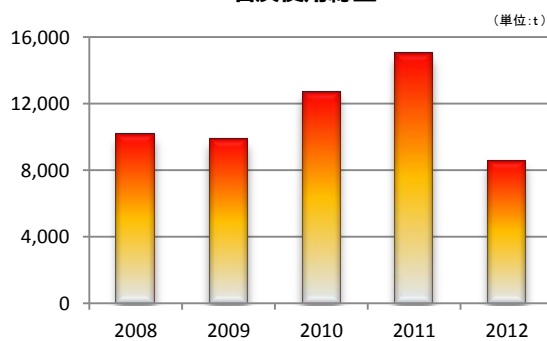
今後も引き続き着実に汚染浄化に取り組んでまいります。

※ このグラフはマブチモーター本社及び主な海外生産拠点のデータを元に計算したものです。

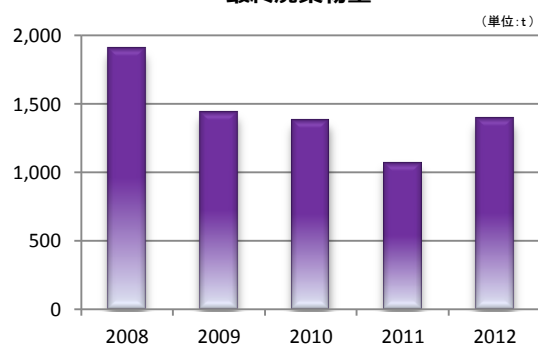
購入電力量総量



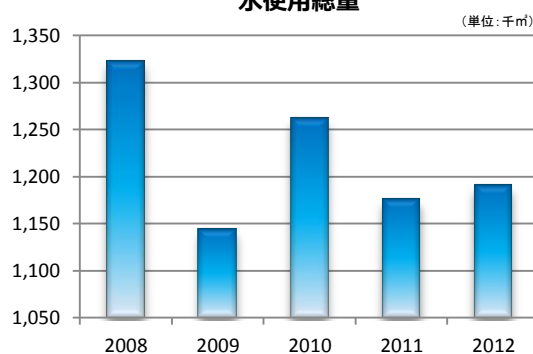
石炭使用総量



最終廃棄物量



水使用総量



	単位	2008	2009	2010	2011	2012
購入電力量総量	(万kWh)	19,464	15,568	18,049	16,454	16,443
石炭使用総量	(t)	10,135	9,836	12,685	14,986	8,551
最終廃棄物量	(t)	1,899	1,436	1,377	1,069	1,387
水使用総量	(千m)	1,323	1,144	1,262	1,176	1,191



お問い合わせ

〒270-2280

千葉県松戸市松飛台430

マブチモーター株式会社

管理本部 総務部

TEL: 047-710-1224

E-Mail: kankyo@mabuchi-motor.co.jp

<http://www.mabuchi-motor.co.jp>